



デンマークの高校、生物の野外授業の様子。

自由の国・デンマークから詰め込み教育で苦しむ日本の教員と子どもたちに届くメッセージ。素晴らしい授業のヒント満載!

生のための授業

幸せで自信に満ちた創造的な子どもを育てるための
デンマークの最高の先生たちの秘密(仮)

マルクス・ベルンセン／清水 満 訳

企画協力：オ・ヨンホ

◆ジャンル：教育

北欧の教育が素晴らしいことは人口に膾炙している。日本でも各国の「自由な教育」や、日本人が大好きな「成績」の良いフィンランドの教育を紹介する本が出ている。しかしいずれも制度分析、体験談、視察報告などに偏り、現場の教員のノウハウや工夫に迫った本は少ない。日本の教員で北欧の教育に関心のある人は、現場で使えるような実践的な内容を求めているのではないかと思う。先生たちは本業の授業研究よりも、報告書や成績付けなど事務仕事に追われており、自分で工夫する余裕がないからだ。

本書はそんなニーズに応える本である。デンマークの著名なジャーナリストが、国内で優れた教育実践をしている小・中・高校の教員十人にインタビューしたもので、各教科の指導内容のみならず、生徒の悩み相談、不登校気味の生徒へのフォローなどについても触れられている。本書を読めば、なぜ北欧の教育が素晴らしいのか、その理由が現場レベルでわかるはずだ。授業に役立つヒントもたくさん出てくる。

本書はもともとデンマーク国内ではなく、詰め込み教育の中心地である東アジア(中国、台湾、韓国、日本)での出版を意図して書かれた。この国際プロジェクトの仕掛人は、著者ベルンセンと韓国のジャーナリスト・教育者オ・ヨンホである。二人はこの書物によって東アジアの教員たちに刺激を与え、詰め込み教育で苦しむ当地の子どもたちを救おうと考えたのである。すでに韓国ではベストセラーとなり、台湾でも出版された。この日本語訳が三番目ということになる。

子どもたちを成績と試験のプレッシャーから救おうとする彼らの意図が実るよう、まずは日本の読者、とくに教員、教育行政関係者にぜひ読んでいただきたいと思う。

(しみず・みづる)

ISBN978-4-7918-1203-2

1月下旬刊

四六並製 二二六頁 予一九八〇円

好評刊
清水 満の本

改訂新版 生のための学校

(デンマークで生まれたフリースクール

「フォルケホイスコーレ」の世界)

共感する心、表現する身体

(美的経験を大切に)

二四二〇円

著者 Markus BERNSEN 1980年生まれ、デンマークのジャーナリスト、著述家。『ウィークエンドエイビス』紙の中国、カンボジア、韓国特派員を経て現在はワシントン特派員。日本にも訪問経験がある。
OH Yeonho 1964年生まれ、韓国のジャーナリスト、教育者。市民参加型ネット新聞「OhmyNews」CEO。



「300メートル×10本×3セット」のダッシュ練習を終え、膝に手をつく生徒たち。

「ブラック部活」はなぜ生まれるのか? 「若者とスポーツと日本社会」の関連性を深く読み解く社会学の野心的試み。

運動部活動の社会学

「規律」と「自主性」をめぐる言説と実践

下竹亮志

◆ジャンル:社会学

令和の時代がはじまり、平成もいずれは遠い過去となっていくことだろう。とはいえ、それ以前、つまり昭和の時代から、私たちはさまざまなものを引き継いでいるように思える。いまや「ブラック〇〇」と呼ばれるようになった昭和的な体質と、本書で扱う運動部活動に代表される「体育会系」なるものは、非常に近しいものとして理解されてきたのかもしれない。

しかし、「体育会系」という言葉で想起されがちな厳しい秩序や規範は、スポーツがもつ根源的な自由さを排除するものではない。「規律」と「自主性」という一見相反するものが同居しながら「妖しい魅力」を放ってきたところに、運動部活動の対象としての面白さと謎がある。

本書は、その「妖しい魅力」を解き明かすために、指導者の言説と生徒の実践という二つの側面からアプローチしている。第1部では、運動部活動の指導者の自伝や評伝などを題材に、「規律」と「自主性」がどのようにに関わり合いながら語られているのかを検証する。第2部では、とある高校の陸上競技部を舞台に、「伝

統」という名の「規律」に向き合いつつ「自主性」を発揮しようとする生徒たちの実践を描いている。

運動部活動は、スポーツがもつ「自由さ」をある意味で巧みに用いながら、私たちに秩序や規範を教え込む権力装置として日本社会に埋め込まれてきた。生徒の個性や意見が尊重されるようになった現在の学校教育において、運動部活動は「規律」を課すことのできる特権的な領域であるといっても過言ではないだろう。しかし、それを許したのは歴史の偶然であって、これからもそうあり続ける必然性はどこにもない。

本書に登場する指導者や生徒の言葉に耳を傾けながら、自らの経験や現在の活動を問い直すきっかけにしたいだければ幸いである。(しもたけ・りょうじ)

ISBN978-4-7948-1202-5 2月上旬刊

四六並製 予三五六頁 予三〇八〇円

障害者スポーツの臨界点

刊 (車椅子バスケットボールの日常実践から)
評 渡 正 三三二〇円

好 野球母ちゃん(そのパワー侮るなかれ)

神川靖子/協力:池谷弘子 一九八〇円

著者 1988年徳島県生まれ。筑波大学体育系助教。専門はスポーツ社会学。共著書に「一九六四年東京オリンピックは何を生んだのか」(青弓社、2018)、「日本代表論——スポーツのグローバル化とナショナルな身体」(せりか書房、2020)がある。

増補版 現代社会用語集

入江公康

「社会」を学びたい若者のバイブル、初版後3年間の激動とコロナ禍をふまえて最新キーワードを追補した待望の新版。四六変型並製 二三八頁 一八七〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1188-2

開発との遭遇

A・エスコバル／北野 収訳・解説

「第三世界の発明と解体」「開発言説」の機制を解明、「開発幻想」からの覚醒を説く開発学の古典。A5上製 予五三六頁 予六八二〇円

近刊
ISBN978-4-7948-1201-8

九州独立と日本の創生

筑後川入道九仙坊

「楽しいサステイナブルな社会をめざす」「カッパの大将」九仙坊が熱く語る、九州の底力と日本の未来。四六並製 三八四頁 三五二〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1199-8

オランダ・ミラクル

松岡洋子

「人と地域の『力』を信じる高齢者福祉」「その人の幸福」に立脚する高齢者福祉の世界最先端を詳細報告！四六並製 四〇〇頁 三七四〇円

『シルバー新報』書評
ISBN978-4-7948-1190-5

善のはかなさ

T・トドロフ 編(テキスト収集及びコメント) / 小野 潮訳

「ブルガリアにおけるユダヤ人救出」無力感を克服した人々の行動・感情はいかにして「善」を到来させたのか。四六上製 二四八頁 三三〇〇円

『週刊読書人』書評
ISBN978-4-7948-1180-6

ブラック・アテナ

M・バナール／片岡幸彦監訳

「I.古代ギリシアの捏造 1785-1885」西欧中心主義的な偽「正統世界史」を修正し近代学芸精神を徹底批判。A5上製 六七二頁 七一五〇円

立花隆氏絶賛！3刷出来
ISBN978-4-7948-0737-3

幼児から民主主義

E・アルネール&S・ソーレマン / 伊集守直・光橋 翠訳

「スウェーデンの保育実践に学ぶ」政治への諦念と権威主義を斥け、参加の意識を育む保育実践の手引き。四六並製 二四四頁 二二〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1191-2

挫折ポイント

A・チエインバリー&S・メイジック / 福田ステイプ利久・吉田新一郎訳

「逆転の発想で「無関心」と「やる気ゼロ」をなくす」「学びは必ず挫折する」という前提から教室を変革する具体策。四六並製 二六八頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1189-9

学校のリーダーシップをハックする

J・サンフランシスコ・シナエス／
飯村寧史・長崎政浩・武内流加・吉田新一郎訳

「変えるのはあなた」 自らが創造的な模範を示し、学校と地域の活性化に尽力する「校長先生」の新たな像。
四六並製 二五六頁 二四二〇円



質問・発問をハックする

C・ハミルトン／
山崎垂矢・大橋康一・吉田新一郎訳

「眠っている生徒の思考を掘り起こす」生徒主体の授業を実現するために「問い」をハックしよう！
四六並製 三四〇頁 二七五〇円



国語の未来は「本づくり」

P・ジョンストン他／
M・クリスチャンソン・吉田新一郎訳

「子どもの主体性と社会性を大切にす
る授業とは？」 子ども自身が作家とな
って書きたいものを書き、本にする授業へ。
四六並製 三〇〇頁 二六四〇円



学習会話を育む

J・ズイヤーズ／
北川雅浩・滝田徹・吉田新一郎訳

「誰かに伝えるために」 ペアやグルー
プでの分担学習・発表・討論とその評価
を裏切るものにする実践例満載！
四六並製 三二二頁 二六四〇円



ピアフィードバック

S・サックシュタイン／
田中理沙・山本佐江・吉田新一郎訳

「ICTも活用した生徒主体の学び方」
成果物や発表への意見・評価の反
映で授業、人間関係、教室が一変！
四六並製 一二八頁 二二〇〇円



社会科ワークショップ

富田明宏・西田雅史・吉田新一郎

「自立した学び手を育てる教え方・
学び方」 主体的に学ぶワークショップ
形式で教室が生き生きと変貌。
四六並製 三六四頁 二六四〇円



すてきなテーブル

P・レイノルズ(文・絵)／島津やよい訳

「黙食・孤食」「スマホ依存」をいっ
しよに解決！バラバラの家族を再び
結びつける心あたたまる物語。
A4変上製 四〇頁 一七六〇円



ぼくは にんげん

絵文……ピーター・レイノルズ／島津やよい訳

「おもちゃやうたでだいただね」 絵本のド
リームチームがおくる希望に満ちた人間
讃歌。世界的ベストセラー日本初上陸！
A5変型上製 三三頁 二二〇〇円



ヨーラン・スバネリッド／鈴木賢志・明治大学国際日本学部鈴木ゼミ編訳
『スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む——日本の大学生は何を感じたのか』

選挙って難しい……若者たちへ

書店員オススメの1冊ヒントに

『朝日新聞（関西版）夕刊』2021年10月26日

新聞記事転載部分につき
新聞社よりウェブサイトにおける
利用ができない旨の回答があり、
掲載しておりません。
あしからずご了解ください。

久米宏氏、座間宮ガレイ氏絶賛
ISBN978-4-7948-1056-4

スウェーデンの
小学校社会科の
教科書を読む



スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む
（6刷出来）
ヨーラン・スバネリッド／鈴木賢志・
明治大学国際日本学部鈴木ゼミ編訳
『日本の大学生は何を感じたのか』
投票率85・8%の国では、小学
校社会科で何を教えているのか？
四六並製 二八〇頁 一九八〇円

本を売る

「リニューアルしました」

2021年3月のリニューアルオープン後にお客様から掛けられた言葉ランキング！ 栄えある第1位は、「狭くなったね」だった。「残念」という言葉がそのあとに続くことも。熊本の中心地で本屋を続けて130年以上。昔からの町の本屋として幅広い層のニーズに応えたい気持ちは山々だが、「広くてたくさん本がある場所」という点に関しては近隣の大型書店にお任せして、小さな本屋だからこそその良さを高めていきたい。というわけで、個人的には狭くなったことを残念だとは思わない。むしろ、「また素敵になってしまった」と喜んでさえいる。100坪あった売り場面積は60坪に縮小し、内装も一新した。重厚なこげ茶色の什器はナチュラルな明るい茶色に統一され、暖色系の照明と相まってあたたかみのある空間を演出している。放課後、西日をいっぱいに取り込んでオレンジ色に発光していた母校の図書室を思い出すので好きだ。さらに、丈高か

った棚が私の背丈（144センチ！）ほどに低まったので圧迫感がなく、居心地が良い。私が本屋に求めるものの最たるは居心地の良さだ。

勤める以前から、私は1人の客としてこの長崎書店が好きだった。100坪時代から蔵書数は限られており、探す本が見当たらないこともしばしばだったが、代わりに必ず新たな本との出会いがあった。なぜ私はこの店に並ぶ本にこんなにも魅力を感じるのか。その理由もやはり居心地の良さだった。居心地が良いから、1冊1冊をじっくりと見つめる余裕が持てる。そんな店であり続けるために、今度は店員として店を好きでい続けたい。多くの方に来店いただきたいけれど、新型コロナウイルスがそれを阻む。それでも、日々店に変化している。ご来店いただけない方々にも是非店を見てもらいたくて、インスタライブで店内ツアーを始めた。視聴者と本の話をしながら巡る店内は私にとっても新鮮に映って、またこの店を好きになる。

長崎書店 福本恵利香

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(12・10~12・18)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 12・10 ⑧マンガでわかる！ 10才までに知っておきたい名作120『ギヴァー 記憶を注ぐ者』
12・11 ⑨朝日新聞『「価値を否定された人々」』（藤原辰史）
12・17 ⑩週間読書人（2021年回顧総特集）『「価値を否定された

人々』（村上宏昭）

- 12・18 ⑪図書新聞（21年下半期読書アンケート）『「価値を否定された人々」』（坂野徹）
〔9・24 ⑫週刊読書人「恋愛について」（渡名喜庸哲）〕

12月の増刷

「価値を否定された人々」

中野智世・木畑和子・梅原秀元・紀愛子
〔ナチス・ドイツの強制断種と「安楽死」
加害犠牲者の両面からこの事象を解
明し、過去と地続きの「今」を逆照射する。〕

四六上製 三三六頁 三三〇〇円

「朝日新聞」書評・2刷出来
ISBN978-4-7948-1192-9



ギヴァー 記憶を注ぐ者

Ｌ・ローリー／島津やよい訳

一切の苦痛のない理想郷の秘密を知った時、少年は旅に出る…近未来SFの名作、待望の新訳！

四六上製 二五六頁 一六五〇円

増刷8刷出来

ISBN978-4-7948-0826-4



本を読む

スウェーデンにおける

野外保育のすべて

この本の実践、活動を通して、子どもたちは天気や気候の変化にかかわらず、世界を好きになることができるかわかり、とても感動しました。寒さや暑さ、虫や予期しない雨などに対し、不安や恐れ、不快感を抱くのは当然のことです。しかし周りをよく観察し、発見し、準備をしていくプロセスを経て、子どもたちは環境を愛し、その変化を含め喜びになっていくということ、素晴らしい野外保育の可能性を教わりました。

(大阪市 主婦 大矢仁美 32歳)

学習会話を育む

ちょうどグループワークが深まらない、話し合いがまだうまくいかないなど感じていたところでした。多くのヒントになる問いや考え方があり、これまで「読む・書

く」に焦点を当てがちでしたが、「話す・聞く」の深め方に光が見えました。

(川崎市 教員 小岩井僚 35歳)

増補版 現代社会用語集

用語「辞典」ではなく用語「集」であるところが特色。社会のあり方、あたりまえを疑うこと、物事を社会の外からみつめることがコンセプトになっている。ことば、ひと、出来事、シネマという切り口も面白く、参考にした。

(南魚沼市 介護福祉士養成校教員 大澤澄男 86歳)

好評刊

スウェーデンにおける

野外保育のすべて

「森のムツレ教室」を取り入れた保育実践」
E・エンクゴード／高見幸子・光橋 翠訳
二六四〇円

等話

「平等な会話が、あなたの人生と社会を変える」
松田道雄
二二〇〇円

「兵六」

「風を感じる」だわりの居酒屋」
柴山雅都
二二〇〇円

編集部から

「価値を否定された人々」朝日12／11書評で好評、2刷出来です！
評者・藤原辰史さんの「私たちの社会はナチスの夢から遠くない」という一言に激しく同意します▼
「NHKから国民を守る党」とは何だったのか？」年始早々の刊行に向けて無事校了しました。N国党との壮絶な闘いの記録に加え、同党が国政議席を獲得できた背景、「日本維新の会」との共通点なども分析されており、読みどころ満載です！
乞うご期待▼プロアマ問わず、スポーツにおけるハラスメントが絶えない中、指導の問題点を告発するアスリート、自ら方法を模索する指導者も増えてきました。一方的な規律訓練から、自主性と自由をも探求する部活動へ。新刊「運動部活動の社会学」で問題の最前線をご確認下さい。

営業部から

- ▼直近3ヶ月(2021年8月、10月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。
- ① たった一つを変えるだけ
 - ② スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
 - ③ プロジェクト学習とは
 - ④ 日本の法人フランチチャイジー
 - ⑤ 歴史をする
 - ⑥ あなた自身の社会
 - ⑦ ぼくは にんげん
 - ⑧ ギヴアー 記憶を注ぐ者
 - ⑨ 幼児から民主主義
 - ⑩ 静かな子どもも大切に
 - ⑪ 虚構の「近代」
 - ⑫ 増補版 作家の時間
 - ⑬ 最高の授業
 - ⑭ 学校図書館をハックする
 - ⑮ 読む文化をハックする

SBCC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料で各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。
入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メールまたはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBCC発行の「入会確認証」をお送りいたします。